

事務事業名		市営住宅入居者募集事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	建築住宅課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	建築住宅係	担当課長名	金子悦雄	
	施策	3 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 快適で安全な住まいづくりの推進と市営住宅の適正な管理・運営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11961	一般	8	5	1	市営住宅入居者募集事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S29年度～ 年度		根拠法令等	佐野市営住宅条例、佐野市特定公共賃貸住宅条例、佐野市再開発住宅条例					
						実施方法		指定管理者			
						事業分類		その他市民に対する事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
・住宅に困窮する低所得者を対象に公営住宅の入居者募集を行う。 定期募集 5回、随時募集 ・入居者選考を適正に行なう。 ・運営委員会の開催			・住宅に困窮する低所得者を対象に公営住宅の入居者募集し、入居者選考を適正に行う。 定期募集 5回(5.7.9.12.2月)、二次募集、随時募集(4月) 指定管理者が行う入居者募集、選考の結果を受け、対象者の入居資格調査・確認、入居決定等の事務を行った。 ・市営住宅の適正な運営を図るための運営委員会を開催し、入居者選考方法や住宅の運営方法等について諮問した。 運営委員会の開催(11月)							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			定期募集	回	5	5	5	5	5	5
			運営委員会開催回数	回	2	1	2	2	2	2
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
①住宅に困窮する入居希望者			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			応募者数	件	57	60	70	70	70	70
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
①入居者を公正で適正な方法で選考する。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			新規入居戸数	戸	48	37	40	40	40	40
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
市営住宅の適正な管理・運営が行われている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			市営住宅(耐火)の耐震化率	%	-	84.2	89.5	94.7	100.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	121	46	121	121	121			
	事業費計(A)	千円	121	46	121	121	121			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			委員報酬	107	委員報酬	46	委員報酬	107	委員報酬	107
			消耗品費	14	消耗品費	0	消耗品費	14	消耗品費	14
人件費	人	4	2	2	2	2				
のべ業務時間	時間	2,200	500	500	500	500				
人件費計(B)	千円	8,560	1,971	1,971	1,971	1,971				
トータルコスト(A)+(B)	千円	8,681	2,017	2,092	2,092	2,092				

事務事業名	市営住宅入居者募集事業	担当部	都市建設部	担当課	建築住宅課	担当係	建築住宅係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和29年度から勤労世帯の住宅の確保を目的に市営住宅が建設され、その後順次住宅戸数が増え、これに伴い入居者募集事務が発生した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	市営住宅の建物の多くは老朽化して、設備等も時代遅れのものとなっており、近年は、募集倍率も落ち着いてきている状況である。そのような中であるが、高齢者の入居相談については、比較的増加している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市議会において、「子育て世帯へ入居支援を。」との要望があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	平成26年から入居者募集などの業務を指定管理者に委託した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市営住宅入居者の募集を行い、入居者を選考することは、市営住宅の適正な管理・運営に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	法令等により、事業主体(市)が入居者の募集、選考を行うこととされているため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	法令等により、入居対象者とその選考方法が決められているため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	指定管理者制度の導入により、事業者の提案により、入居者募集制度の改善や、申込み機会の増加なども可能となり、成果向上が期待できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	入居の決定や家賃の決定など公営住宅法上市が責任もって行わなければならない事務は、必要最低限の人員で行っており削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	公営住宅の入居を募集し、その入居者を選考するもので、受益者負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
公営住宅の施設を廃止しない限り不可能である。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業のやり方改善(成果向上の見直し) : 事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 指定管理者制度の導入	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持			×																			
	低下		×	×																			